

KENMIN NO AYUMI

令和3年5月号
No.621

2021

県民のあゆみ

山形県広報誌

5



P.2 県民の皆さまへ
P.4 特集
P.8 奏である人
P.16 やまがた伝説

新型コロナウイルス感染症関連情報
令和3年度当初予算について
若者たちに学びと成長、生き抜く力を
さくらんぼ

「釣り」と「ワーケーション」を組み合わせた「庄内浜釣りケーション」を発信している皆さん。地元自治体や企業、そして県とも連携しながら、二拠点居住や副業なども視野に入れた新しいライフスタイルを提案しています。
(撮影協力：由良自治会活性化委員会、海テラスゆら)

山形県PCR自主検査センターがオープン!

新型コロナウイルス感染症の再流行に伴い、一般県民や企業関係者の間で感染への不安が高まっていることから、自費によるPCR検査や陰性の証明に対するニーズに応え、県民・企業の方々の不安解消や社会経済活動を支援するため「山形県PCR自主検査センター」を開設しました。

●センターの概要

県立河北病院にセンターを設置し、行政検査の対象とならない県民等に低廉な検査料でPCR検査を実施します。また、希望する方に対しては陰性証明書を発行します。

対象者	以下の①～③のすべてに該当する方 ①県内居住者 又は 県内居住者に準ずると認められる方（県内事業所に勤務する方、里帰り出産等により県内の実家に帰省している方等） ②感染者の濃厚接触者に該当しない方 ③発熱等の症状のない方
検査料等 ※金額は全て税込み	◎検査料 5,000円/1件 ◎証明書発行料 1,320円/1通 (英文又は様式指定の場合は3,300円/1通)
採取する検体	唾液
開設日時	平日の午後2時～7時（最終受付:午後6時45分） ※1日30人程度（完全予約制）
検査受付場所	県立河北病院 北側 入退院入口



●予約から検査結果通知までの流れ

- ① 検査前:** 電話による予約申込
(平日の午前9時30分～午後5時)
- ② 検査当日:** 受付後、検体の採取
- ③ 翌営業日以降:** 検査結果を電話連絡
希望者には陰性証明書を郵送



●問い合わせ 県立河北病院 ☎0237-73-3131

〒999-3511 西村山郡河北町谷地字月山堂111 ※ 予約申込の方は「PCR自主検査希望」とお伝えください。

新型コロナウイルス感染症関係相談窓口

県では、新型コロナウイルス感染症に関する各種相談窓口を設置しています。お気軽にご相談ください。

相談種別	問い合わせ先
いじめ・偏見・差別問題に関する相談	県地域福祉推進課(023-630-2269) 各総合支庁福祉担当課 村山:023-627-1351 最上:0233-29-1275 置賜:0238-22-3015 庄内:0235-66-5654
生活困窮に関する相談	県地域福祉推進課(023-630-2334)
特別金融相談	県中小企業・創業支援課(023-630-2359)
事業継続に関するお悩み	各総合支庁地域産業経済課 村山:023-621-8442 最上:0233-29-1306 置賜:0238-26-6042 庄内:0235-66-5484
農林水産業に関するお悩み	県農政企画課(023-630-2422)、各総合支庁農業振興課 村山:023-621-8386 最上:0233-29-1314 置賜:0238-26-6049 庄内:0235-66-5497 ※水産業については庄内水産振興課:0234-24-6161
ひとり親家庭のお悩み	ひとり親家庭応援センター(023-633-1037)
外国人向け窓口	(公財)山形県国際交流協会(023-646-8861)

※ 対応時間は祝日を除く月～金曜日 午前8時半から午後5時15分。外国人向け相談は対応言語によって異なりますので、お問い合わせください。

新型コロナの克服に向けて

世界規模の大災害ともいえる新型コロナウイルス感染症の流行から一年以上の月日経りました。県民の皆さまには、これまでの間、新しい生活様式の実践など新型コロナの感染拡大防止に多大なご協力をいただき、改めて感謝申し上げます。



本県では、3月中旬から感染が急拡大するなど予断を許さない状況が続いていますが、コロナ克服に向けてカギとなるのがワクチン接種です。県内でも、3月上旬から医療従事者等に対し、4月中旬からは高齢者に対し優先接種が実施されています。新型コロナ対策の要となるビッグプロジェクトであり、希望の光になると考えておりますので、引き続き、県と市町村が一体となって取り組んでまいります。

また、県では、自分が感染していないことを自主的に確認するためのPCR検査やビジネス界の陰性証明に対するニーズに応えるため、県立河北病院に「山形県PCR自主検査センター」を開設し、3月から検査を開始しています。県立病院としては全国初の取り組みであり、県民の皆さまの不安払拭のお役に立てればと考えています。

新型コロナが収束するまでには、時間がかかると思いますが、明けない夜はありません。県民の皆さまが一日も早く平穏な日々を取り戻せるよう、全力で取り組んでまいります。

県民の皆さま、共にこの難局を乗り越えてまいりましょう。

山形県知事 吉村美栄子

県民の皆さまに改めてのお願い

県民の皆さまには、引き続き、基本的な感染防止対策である新しい生活様式を徹底してご協力をお願いします。

また、事業者の皆さまには、業種ごとの「感染拡大予防ガイドライン」の順守の徹底をお願いします。

- 食事中以外のマスク着用の推奨
- こまめな手洗い
- 適切な換気
- 身体的距離の確保
- 共用部分の消毒
- “場の切り替わり”での対策
- 外出はすいた時間と場所を選んで

ワクチン接種に関する不安・お悩みにお答えします! 山形県ワクチンコールセンター

コロナ ロックゼロ
0120-567690 (フリーダイヤル)

受付時間	午前8時30分～午後6時(土日祝日も受け付けます)
相談体制	医療一般に関する知識や経験を有する看護師・保健師の有資格者が対応します。
相談内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ワクチンの副反応や医学的知見を必要とする相談 ・県内の全体的な接種スケジュール ・各市町村の相談窓口やコールセンターのご案内 ※ 接種の予約等に関する相談は各市町村の相談窓口等で対応します。

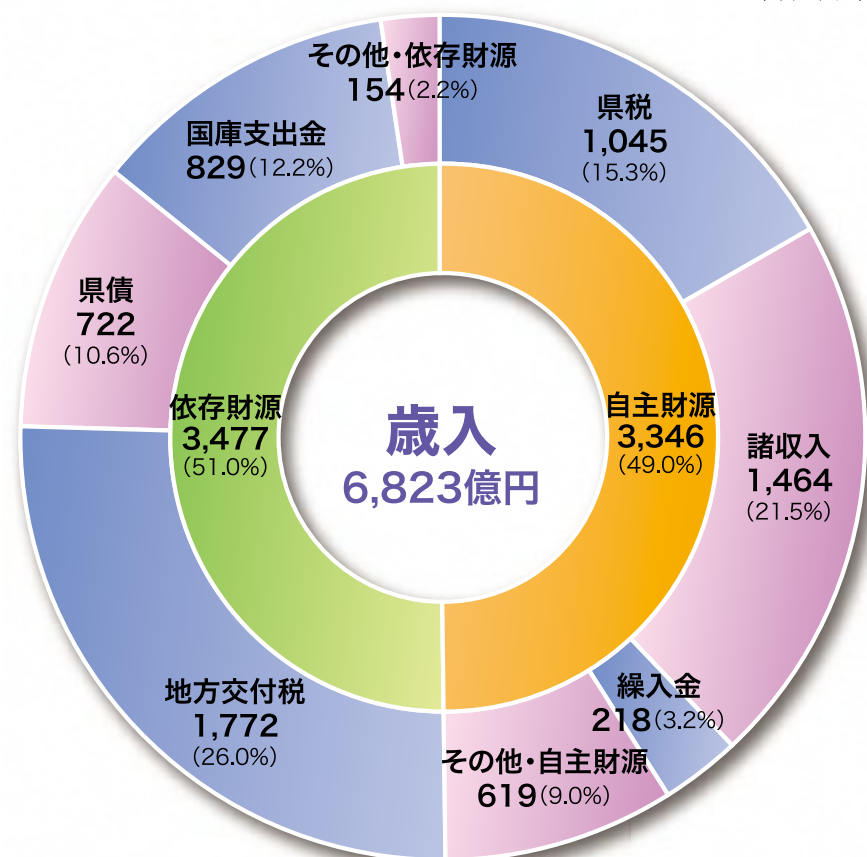
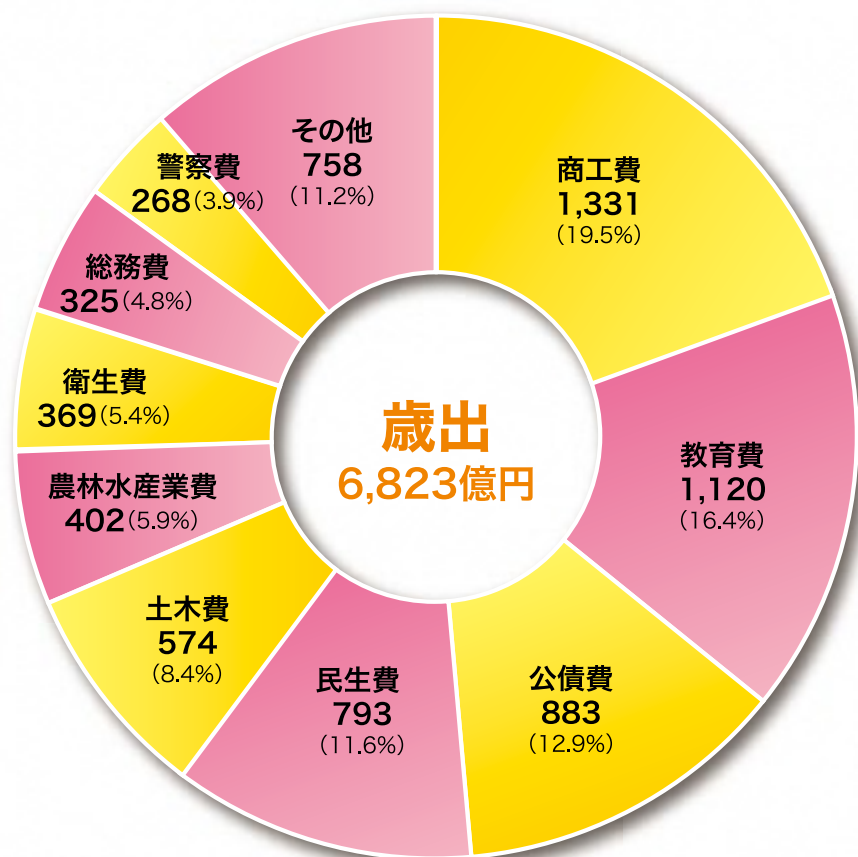


コロナ克服・未来創造予算

令和3年度は、「第4次山形県総合発展計画」の基本目標である「人と自然がいいきと調和し、真の豊かさや幸せを実感できる山形」の実現に向け、「令和3年度県政運営の基本的考え方」の5つの視点を重視しながら、「コロナを克服し、さらに輝かしい山形の未来を創るための予算編成と組織改正を行いました」。

令和3年度当初予算（一般会計）の概要

(単位:億円)



用語解説



【歳入】

◎地方交付税…自治体間の財源の不均衡を調整するために、一定のルールで国から交付されるお金

◎県債…災害対応や道路整備・学校を建てるなどの目的で県が借りるお金

◎国庫支出金…農地の整備など、特定の事業に対して国から交付されるお金

◎自主財源…県税など、県が自ら収入する財源

◎依存財源…国から交付されたり、割り当てられたりする財源

【歳出】

◎公債費…県債返済などに使うお金

◎民生費…生活保護などの社会保障のためのお金

◎衛生費…医療や健康増進、環境保全などのためのお金



視点①

ふるさと山形力の向上

〜郷土愛を醸成し、みらい創造にチャレンジする環境づくり〜

【施策の方向性】

- 本県の豊かな地域資源を活用した移住・定住の促進
- テレワークなど働き方改革の推進と女性の賃金向上
- 幸せな子育て・質の高い教育環境の整備
- 文化芸術・スポーツに親しむ環境づくり

【主要な事業】

NEW 全国初
◆子育て費用の完全無償化に向けた段階的な支援
11億2千7百万円

「子育てするなら山形県」の実現に向けて、子育て費用の段階的な無償化に取り組んでいきます。出産費用の負担軽減のため、平均出産費用と出産育児一時金の差額の2分の1程度を市町村と連携して給付する「出産支援給付金」を創設します。また、0〜2歳児の保育料について、子育て世帯の負担軽減を段階的に図ります。さらに、私立高等学校等の授業料軽減のための支援額を拡充します。



「子育てするなら山形県」の実現へ

NEW

◆発達障がい児の初診待機期間を短縮
2千3百万円

こども医療療育センターに常勤医師を1名増員するとともに、県内4地域において公認心理師による発達検査を行い、早期から支援する体制を構築することで、初診待機期間を短縮します。

NEW

◆女性の賃金向上への支援
1億2千万円

女性の賃金の底上げや正社員雇用を促進するため、若年女性の非正規雇用労働者の賃金引き上げや、正社員への転換を行う事業者に対し、支援金を支給します。

【予算規模】

令和3年度一般会計当初予算は、総額6823億円となりました。前年度当初予算から約690億円の増となり、3年連続で前年度を上回る予算となります。

【歳入予算】

県税は、コロナ禍により法人事業税や個人県民税の減収が見込まれることから1045億円となり、前年度と比べて減額を見込んでいます。一方で、新型コロナウイルス感染症への対応のための交付金をはじめとした国庫支出金は829億円と前年度比15.0%の増加、地方交付税は1772億円と、同じく1.3%の増加を見込んで歳入予算を確保しました。

【県債残高の見込み】

今年度末の県債残高の見込みは、1兆2108億円となり、前年度の同時期と比べて、約278億円の増加を見込んでいます。また、財政健全化の目標として掲げている臨時財政対策債と補正予算債等並びに災害復旧事業債を除いた今年度の実質的な県債残高は6612億円となります。前年度の同時期と比べて65億円の増加を見込んでいます。

【組織機構の改正】

「令和3年度県政運営の基本的考え方」に示した施策を効果的に展開し、変化に対応しながら、持続的に発展し続ける県づくりを着実に進めるため、**しあわせ子育て応援部**の新設等の組織機構の改正を行いました。



視点2

保健・医療・福祉の充実等による安全・安心な社会づくり

【施策の方向性】

- 医療・福祉分野におけるデジタル化推進や提供体制の確保
- がんなど生活習慣病対策の強化
- 運動・体操・音楽等を活用した健康づくりの促進
- 自殺や虐待、DV、ひきこもり等への対策強化

【主要な事業】

◆ 新型コロナウイルス対策のための医療提供体制の強化
141億9百万円※

新型コロナウイルスのワクチン接種に関する県民の不安解消のためコールセンターを開設するとともに、県立河北病院に設置した山形県PCR自主検査センターにおいて、自費によるPCR検査を低廉な検査料で実施し、県民や企業の方々の不安解消や、社会経済活動を支援していきます。

また、新型コロナウイルスの専用病床を確保した医療機関等に対する空床補償や、保険適用となるPCR検査の公費負担などを引き続き行っていきます。

NEW

◆ 自宅でも元気に健康維持
5百万円

コロナ禍でも、高齢者が健康を維持し地域で安心して暮らせるよう、介護予防等の活動を行う「通いの場」で、タブレット端末等の使い方を教わりながら、自宅からも参加できるモデル事業を行います。

NEW

◆ がん克服に向けた取り組み
1千万円

山形大学医学部と連携し、がんの発症や生活習慣病の予防につながる調査研究を行うとともに、研究成果に基づき、がん克服に向けた取り組みを進めます。



ワクチン接種を迅速かつ確実に



視点3

産業経済の振興・活性化

【施策の方向性】

- 産業イノベーションの創出
- 地域産業のデジタル化促進
- 雇用の創出に向けたスタートアップ支援
- 精神文化・地域資源の活用による観光・交流の拡大

【主要な事業】

◆ 中小企業の成長を応援
1億4千6百万円

ポストコロナを見据え、企業の成長の柱となる新製品・新技術開発などのイノベーション創出や、デジタル化の推進に向けた設備投資などを支援する「中小企業パワーアップ補助金」を創設します。

◆ 多様な人々の起業・創業を支援
3千5百万円

創業支援ワンストップ窓口と、県内コワーキングスペースの中核的機能などを有する山形県創業支援センター(仮称)を設置し、県内での起業・創業や事業創出を促進します。

NEW

◆ 観光需要回復への取り組み
1億7千5百万円

新型コロナウイルスの影響により落ち込んだ観光需要の回復に向け、県民泊まつり元氣キャンペーンについて、500円の宿泊割引クーポンを30万枚追加発行します。

NEW

◆ 精神文化を活用した観光誘客の促進
1千1百万円

出羽三山ややまがた出羽百観音に代表される本県が誇る精神文化のブランド化およびブランドコンセプトに基づく動画の制作・配信、魅力的なコンテンツの発信などデジタルプロモーションを展開することにより、観光誘客を進めます。



ブランド化を目指すやまがた出羽百観音



視点4

農林水産業の振興・活性化

【施策の方向性】

- スマート農業の推進・高度な農業経営人材の育成
- eコマースやオンライン等を活用した農林水産物の販売促進
- 「やまがた森林ノミクス」の加速

【主要な事業】

◆ 農林水産業のデジタル化推進
8千4百万円

広域での衛星画像解析によるつや姫の生育診断や、環境モニタリングセンサーのきめ細かな設置による生産効率化などに加え、ECサイトを活用した売上げの増加に向けた取り組みへの支援やオンライン商談会の開催など、みんなが使えるスマート農林水産業を進めます。

◆ 地域農業の担い手を支援
5千5百万円

小規模農家など地域農業を支える多様な担い手の確保・育成に向け、地域ぐるみの取り組みや、女性活躍の取組みなど、新たなチャレンジを、市町村と連携して支援します。



視点5

やまがた強靱化

【施策の方向性】

- ソフト・ハード両面における防災力の強化
- 道路・鉄道・空港・港湾など社会資本整備のさらなる促進
- 地域公共交通ネットワークの充実強化
- 市町村をはじめとする県内外との広域連携の強化

【主要な事業】

◆ 令和2年7月豪雨等を踏まえた治水対策
138億9千9百万円※

令和2年7月豪雨と同じ規模の雨でも浸水被害が発生しないように、国土交通省や市町村等と連携して治水対策に取り組めます。

◆ 地域防災力の活性化
4百万円

避難所運営等の中心的役割を担う防災士の養成、防災活動への多様な主体の参加を促す「女性のためのオンライン防災カフェ(仮称)」の開催など、地域防災力の向上を図ります。



治水対策の実施例

NEW

◆ 庄内空港の機能強化と活性化
1千1百万円

インバウンド対応のため、国内線と国際線の利用客の導線を分けるなどの機能強化の検討や、庄内空港ファンクラブ(仮称)の設立に向けた支援を行います。

NEW

◆ ゼロカーボン社会の実現に向けた取り組み
2千9百万円

昨年8月に宣言した「ゼロカーボンやまがた2050」の達成に向け、有識者・産業界・一般県民等からなる推進会議を設置するとともに、公用車に電気自動車を導入します。

※令和2年度2月補正予算額を含めた額

奏であう人

かな

vol.60

若者たちに学びと成長、生き抜く力を



高山 恵美子さん(新庄市)

昭和30年生まれ、尾花沢市出身・新庄市在住。一般社団法人とらいあ副理事長。新庄親子劇場事務局長、NPO法人子育てネットワーク・バルボンさん設立(代表理事)を経て、市民ネットワーク・図書館サポートとらいあを設立後、2010年に一般社団法人化。現在は、新庄・最上ジモト大学の運営に事務局として関わる。JPIC読書活動アドバイザー、生涯学習推進コーディネーター(上級)、コミュニティカウンセラー。



新庄・最上ジモト大学プログラム「冊子の編集者になって地域を盛り上げる！」の初回ミーティング。プログラム提供者から、フリーペーパーの企画・取材・編集・発行について説明を受け、熱心に耳を傾ける高校生。次回はよいよ取材先へ。



白石 祥和さん(米沢市)

昭和56年生まれ、米沢市出身・在住。NPO法人With優代表。小学校や民間企業勤務、海外ボランティアの経験などから、2007年にフリースクール設立。県から若者相談支援拠点設置運営事業や若者サポートステーション事業等を受託。やまがた若者応援大使も務める。2021年には若者力大賞においてユースリーダー支援賞を山形県人として初受賞。今年度からは山形県生活自立支援ひきこもり支援モデル推進事業にも取り組んでいる。



With優では、フリースクールに通う生徒たちが、地域の方々と交流を深めるカフェレストランを運営。フリースクールの教室を利用して12月～5月を除き、月2回程度営業し、社会参加のきっかけと就労体験の機会を提供している。写真はペット連れで過ごせるテラス席。

多様な学びのあり方と 社会参加のきっかけづくり

白石さんが運営するフリースクールには、学校に行けない子どもや、行かないことを選択した青少年たち20名ほどが通っています。

「ひきこもりなどで孤立した若者が就労を目指すための、会員制居酒屋」結“も立ち上げました。お客様と接しながら経験を積む実践的なトレーニングの場で、自立した後も気軽に集まれるようにしています。

会員制にしたのは、地域の皆さんも若者支援に参加し、接客中の失敗を温かく見守るなど、店の主旨を理解したうえで来店してもらうためです。現在会員数は約4800名となり、ここから就職を実現した若者は50名を超えました」と白石さん。

運営母体のWith優には寄付など様々な形で応援してくれる企業が増え、県内外100社にのびります。一方の高山さんが事務局を務める新庄・最上ジモト大学は、卒業と同時に地元を離れる多くの高校生を対象とした、最上地域全体をキャンパ

スに見立てた学びの場です。高山さんはこう話します。

「官民協働で地域が一体となり、学校では学べない、地域の課題などをテーマに、例えば、雪と雪国文化の魅力のPRなど約30本のプログラムを用意しています。多様な職種・立場の大人と接し、地元を知り、学ぶことで、高校生はその魅力や可能性を発見していきます。

同時に、自ら主体性や社会性、探求心を持つて取り組むことで、これからの時代を生き抜く力を身に付けていくことを期待しています。

ジモト大学がスタートした平成29年度の参加者は244名でしたが、コロナ禍の昨年度はオンラインプログラムも併用して、前年度を上回る587名もの高校生が参加しました。

大人自身が変わり、 地域で子どもたちを支える

高山さんの取組みを聞き、置賜にもジモト大学が欲しいと白石さんは言います。

「どんな自分であっても認めてくれる」受け皿“や、自ら行動を起こ

す”きっかけ“さえあれば、子どもたちは安心でき、動き出せます。

私の活動は、地元を好きなことがベースとなつています。子どもたちや若者には、楽しいと思いつながら山形で育つてほしいのです。不登校というだけで、将来が閉ざされるような社会ではいけないと思います。

高山さんが、大きくうなずきます。「白石さんのように、不登校であることを責めずに受け止めてくれる人の存在は大事ですね。学校に行く行かないだけで判断せず、子どもの将来を地域で育むこと、そのための開かれた”場“が必要です。そして、社会を作っている大人が、自らの価値基準などを変えていく勇氣を持たなければなりません。

ジモト大学でも、高校生と学ぶ大人の本気と本音が試されています。白石さんがこれに応えます。

「誰かの評価ではなく、自分が納得できる生き方や、失敗してもいいからやってみようという姿を、私たち大人が子どもたちに見せることが大切ですね。一人の若者の希望が、地域や社会を変えていきます」。





2月定例会(着物姿で伝統産業をPR)

2月定例会の概要

令和3年2月定例会は、2月18日から3月18日までの29日間の会期で開催され、令和3年度一般会計予算案や令和2年度一般会計補正予算案など知事提出の98議案などを可決・同意、副知事の選任に係る1議案を否決しました。また、4件の意見書を可決し、国に提出することとしました。今定例会は、1月24日に投開票が行われた山形県知事

選挙後、初の定例会となりました。新型コロナの感染拡大防止と経済再生の両立という難しい課題がある中、知事が掲げる公約やその実現に向けた今後の取組み、東日本大震災から10年を迎え、県民が安全安心に暮らせる災害に強い県土づくりに向けた質問など、活発な質疑が行われました。

新 正副議長が決まりました

議長、副議長選挙が行われ、第34代議長に坂本貴美雄 議員(新庄市選挙区)が、また、第66代副議長に奥山誠治 議員(山形市選挙区)が選出されました。



坂本貴美雄新議長 奥山誠治新副議長

各委員会の令和3年度の所属委員はこちらからご覧いただけます!



2月定例会で 質疑質問を行った議員

質疑質問の様子(動画)や会議録はこちらからご覧いただけます!



録画中継



会議録検索システム ※2月定例会分は6月以降に掲載予定

代表質問 (2月26日)

自由民主党 奥山誠治 議員
(山形市選挙区)
◆ 今後の新型コロナ対策について など

県政クラブ 高橋啓介 議員
(山形市選挙区)
◆ 安定した職場の提供と県民所得の向上について など

一般質問 (3月1・2日)

自由民主党 相田光照 議員
(米沢市選挙区)
◆ 4期目の知事の退職金について など

公明党 菊池文昭 議員
(山形市選挙区)
◆ 交通系ICカードの導入と今後の広がりについて など

自由民主党 渋間佳寿美 議員
(米沢市選挙区)
◆ 公約に掲げた工業技術センター置賜試験場の移転整備について など

自由民主党 島津良平 議員
(東置賜郡選挙区)
◆ 移住促進に向けた取組みについて など

県政クラブ 菊池大二郎 議員
(村山市選挙区)
◆ 冬期間における安全安心な県民生活の確保について など

自由民主党 坂本貴美雄 議員
(新庄市選挙区)
◆ 知事の県政運営について など

予算特別委員会 (3月4・5・8日)

自由民主党 遠藤寛明 議員
(上山市選挙区)
◆ 無利子・無保証料融資制度の返済について など

自由民主党 柴田正人 議員
(南陽市選挙区)
◆ 県と市町村の協議の場の設置について など

無所属 阿部ひとみ 議員
(酒田市・飽海郡選挙区)
◆ あらゆる分野における女性活躍に関する知事の所見について など

県政クラブ 石黒 覚 議員
(酒田市・飽海郡選挙区)
◆ コロナ禍における病院経営の状況等について など

県政クラブ 高橋 淳 議員
(鶴岡市選挙区)
◆ 環境保全型農業の推進について など

自由民主党 小松伸也 議員
(最上郡選挙区)
◆ 新型コロナの感染拡大防止と経済回復の両立について など

自由民主党 鈴木 孝 議員
(東村山郡選挙区)
◆ 三世同居について など

自由民主党 船山現人 議員
(東置賜郡選挙区)
◆ 米の需給調整について など

新型コロナウイルスの感染防止対策の強化と経済再生を求め知事へ提言

3月8日、新型コロナウイルス感染症対策特別委員会が開催され、「ワクチン接種の円滑な実施及び本県経済の回復と事業の継続に向けた提言」を金澤議長が知事に手渡しました。



2月定例会で可決した意見書

- 多核種除去設備等処理水の取扱いに係る理解促進と風評対策の徹底を求める意見書
- 地球温暖化対策の更なる推進を求める意見書
- 地域における医療提供体制の確保に向けた対策の充実強化を求める意見書
- 漁業者の安全操業に向けた外国漁船の違法操業に対する取締りの強化を求める意見書

令和2年度 議会政策提言

令和2年3月に設置した3つの特別委員会における審査・調査結果を踏まえて、県勢発展につながる施策を県議会の総意として取りまとめ、3月17日、知事に対して議会政策提言を行いました。

- 提言1** 脱炭素社会の実現に向けた取組みと異常気象に対応した防災・減災対策の推進
- 提言2** 持続可能な医療提供体制の構築と女性の県内定着・回帰に向けた対策の推進
- 提言3** 社会の変化に対応した産業競争力強化・担い手確保対策の推進



政策提言全文はこちらからご覧いただけます!



県議会ギャラリーに高校生の書道作品を展示

県議会ギャラリーでは、2月定例会中、文化部のインターハイといわれる「こうち総文2020」書道部門に参加した、県内の高校生による書道作品を展示しました。



生徒・学生と県議会議員との意見交換会を開催

2月26日、県立山形西高等学校の生徒会役員等15名と投票率向上や女性の社会進出などをテーマに意見交換を行いました。意見交換終了後、議場を見学していただきました。



県議会の情報は、山形県議会ホームページに満載です。ぜひご覧ください!!



- 1 定例会の概要や議会の日程
- 2 議会の生中継やこれまでの質疑の模様
- 3 可決した意見書・決議の内容
- 4 各常任委員会・特別委員会での質疑内容
- 5 会派ごとの議案等に対する賛否状況 など

山形県総合文化芸術館
オープニング事業

合唱の祭典

～山形県合唱連盟創立70周年事業～

世界で活躍する指揮者・山田和樹と東京混声合唱団を迎え、山形のアマチュア合唱団・オーケストラとともに作りあげる合唱祭。東京混声合唱団の演奏のほか、久石譲の委嘱作品「I want to talk to you」初演と組曲「蔵王」の演奏を出演者合同で行います。



Photo by yoshinori Tsuru

開演日時	6月19日(土)午後3時
指揮	山田和樹
出演	東京混声合唱団、山形県合唱連盟、山形県アマチュアオーケストラ連盟
会場	やまぎん県民ホール(山形市)
料金	全席自由 2,500円

◎詳しくは [やまぎん県民ホール](#)

📍 [やまぎん県民ホールチケットデスク](#)
☎023-664-2204 (受付時間:水～月 10:00～19:00)

山形交響楽団
定期演奏会情報

第293回定期演奏会

開演日時	5月29日(土)午後7時 5月30日(日)午後3時
指揮	飯森範親
トロンボーン	中川英二郎
出演	・ポロティン: 歌劇「イーゴリ公」第二幕より「だったん人の娘たちの踊り」 「だったん人の踊り」 ・リムスキー=コルサコフ: 交響組曲「シェラザード」作品35 ほか
会場	山形テルサ(山形市)
前売券	A席 4,800円 ほか

第294回定期演奏会

開演日時	6月19日(土)午後7時 6月20日(日)午後3時
指揮	阪哲朗
ピアノ	館野泉
出演	・ブリテン: 左手のピアノと管弦楽のための主題と変奏「ディヴァージョンズ」作品21 ・モーツァルト: 交響曲第38番二長調「プラハ」K.504 ほか
会場	山形テルサ(山形市)
前売券	A席 4,800円 ほか

◎詳しくは [山響](#)

📍 [文化振興・文化財活用課](#) ☎023(630)3342

プロスポーツゲーム情報

「モンテディオ山形」
ホームゲーム

日時	対戦チーム
5月5日(水・祝)午後2時	ヴァンフォーレ甲府
5月16日(日)午後2時	愛媛FC
5月30日(日)午後2時	SC相模原
6月13日(日)午後2時	レノファ山口FC
6月26日(土)午後7時	ツエーゲン金沢

◎会場: NDソフトスタジアム山形(天童市)

◎詳しくは [モンテディオ山形](#)

東京2020オリンピック聖火リレー
に伴う交通規制について

県内で聖火リレーが行われる6月6日(日)・7日(月)は、走行ルート周辺で交通規制が敷かれます。規制場所・時間帯は、「東京2020オリンピック聖火リレー山形県情報サイト」をご覧ください。県民の皆さんにはご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。



◎詳しくは [聖火リレー 山形県](#)

📍 [スポーツ振興・地域活性化推進課](#) ☎023(630)2284

※3月31日時点の情報です。新型コロナウイルスの影響で変更となる場合がありますので、事前に📍にご確認ください。

旬のやまがた

美食レシピ
recipe

緑と白の見た目も鮮やかな春の風物詩

小笹うるい



農林水産大臣登録第76号

うるいはギボウシとも呼ばれ、山野に自生する多年草です。小笹うるいは、明治20年代後半に上山市の男性が山中で見つけたものを採取し、里で栽培したのが始まりと言われています。里の地名から小笹うるいと名付けられ、今も原種を引き継ぐ伝統野菜として珍重されています。一昨年3月にはGI*に登録され、これを機に地元では知名度向上と販路拡大に取り組んでいます。

小笹うるいの特長は、通常のうるいに比べて茎が太く、ぬめりが強いこと。また、鮮やかな葉の緑と真っ白い茎のコントラストが美しく、この対比を出すために日光を微妙に調整しながら当てるなど、栽培には高度な技術が求められます。出荷時期は、ハウス栽培のものが2月から始まり、露地ものは5月まで。今回は春を感じさせる煮物のレシピを紹介します。

※GI(地理的表示保護制度): 特定の産地と品質等の面で結びつきのある農林水産物を知的財産として登録し、保護する制度

📍 [お問い合わせ](#) ◎ [村山総合支庁地域産業経済課](#) ☎023-621-8447

小笹うるいとにんじんの煮物

●材料(2人分): 小笹うるい75g、凍みだいこん約10cm、身欠にしん1本、水50ml、酒50ml、しょう油大さじ1/2、砂糖小さじ1/2

●作り方: ①小笹うるいは葉先をとり、白と緑の鮮やかな色を保つため熱湯に数秒くぐらせて5cmの長さに切る。②凍みだいこんはぬるま湯で戻し、水分を切り、食べやすい大きさに切る。③身欠にしんは少し軟らかめの物を選んで4等分にする。④水、酒を煮立たせ、③を入れて少し煮る。⑤④にしょう油、砂糖を加え②を入れて味が染み込むまで煮る。⑥最後に①を入れ、汁がなくなるまで全体をよく混ぜながら煮含めて完成。



📍 [村山旬の市](#)

地域の旬だより

村山

花笠踊り発祥の地「徳良湖」百周年

徳良湖は、尾花沢市にある農業用ため池で、大正10年に完成し、今年で百年目を迎えます。その築堤工事において、ため池の底をつき固める作業「どんづき」の掛け声「唱」から花笠音頭が生まれ、その「唄」に合わせた即興の「踊り」が花笠踊りになったと言われています。

面積26ha(東京ドーム約5・5個分)の広大な徳良湖は、周辺の農地約230haを潤しています。農業用ため池として高く評価され、平成22年には全国約21万箇所のため池の中から農林水産省の「ため池百選」に選定されました。また、周辺には温泉やキャンプ場などがあり、住民の憩いの場としても親しまれています。この5月3・4日には、百周年記念イベントが行われます。当日は、徳良湖一周を囲んでの花笠踊り(当日参加も可能)や花笠マラソン大会、県内ゆかりの歌手による野外ステージなど、多くの方々を楽しめるさまざまなイベントが予定されています。桜並木に囲まれた湖畔では、たくさんのお客さんが泳ぎながら、皆さんのご来場をお待ちしております。



📍 [お問い合わせ](#) ◎ [村山総合支庁農村計画課](#) ☎023-621-8389

置賜

農業の魅力伝えるアグリ・ティーチャー!

県や置賜地域の市町、地元JA等で構成する置賜農業振興協議会では、中学生が農業を職業として考える機会を提供しようと、地域の農業者をアグリ・ティーチャーとして置賜管内の中学校に派遣しています。講師は、地元で意欲的に農業経営に取り組んでいる若手農業者7人と4団体です。平成30年の事業スタート以降、これまでに延べ9校に講師を派遣し、約1300人の生徒に農業の魅力ややりがい伝えてきました。

どの学校でも、生徒たちは、講師が語る作物や家畜を育てる喜びと苦労に、熱心に耳を傾けてくれます。生徒からは、「食べ物に生産者の思いや努力が詰まっていることを実感できた」、「農業を通して多くの人と出会う魅力を知った」、「地産地消を実践していきたい」などの感想が寄せられています。中学校におけるキャリア教育としてだけでなく、農業を通して食や命の大切さを学べる貴重な機会でもあります。今年度も管内の中学校からの派遣申請を随時受け付けていますので、PTA行事や食育活動など幅広い場面でご活用ください。



📍 [お問い合わせ](#) ◎ [置賜総合支庁農業振興課](#) ☎0238-26-6049

📍 [おきたま食の応援団](#)

各地からの情報をお届けします。



おいしい山形 インフォメーション

※3月31日時点の情報です。新型コロナウイルス感染症の影響で変更となる場合がありますので、事前にご確認ください。

試験

山形県職員採用試験

今年度の山形県職員採用試験を、以下のとおり実施する予定です。

試験名	申込受付期間	第1次試験日
大学卒業程度	5月7日(金)~5月27日(木)	6月20日(日)
短大・高校卒業程度 市町村立学校事務職員	8月6日(金)~9月3日(金)	9月26日(日)
警察官A	4月20日(火)~6月14日(月)	7月11日(日)
警察官B	7月16日(金)~8月30日(月)	9月19日(日)

◆受験案内配布開始日

大学卒業程度 5月7日(金)
短大・高校卒業程度 8月6日(金)
市町村立学校事務職員 8月6日(金)
警察官A、警察官B 4月20日(火)

◆配布場所 県庁(1階受付、15階人事委員会事務局)、各総合支庁総合案内窓口、県外事務所(東京・大阪・名古屋)※県ホームページからもダウンロードできます。

☎ 人事委員会事務局 ☎023(630)2782

山形県公立学校教員選考試験

今年度の山形県公立学校教員選考試験(1次試験)を、以下のとおり実施する予定です。

◆試験日 7月17日(土)

◆実施要項配布開始日 5月7日(金)

◆配布場所 県庁(1階受付、13階教育庁教職員課)、各教育事務所、各総合支庁総合案内窓口、県外事務所(東京・大阪・名古屋)

☎ 教育庁教職員課 ☎023(630)3406

山形県病院事業局職員

選考試験(看護師・医療情報職)

今年度の県立病院の選考試験を、以下のとおり実施する予定です。

◆申込受付期間

看護師:5月31日(月)~7月2日(金)
医療情報職:5月31日(月)~9月17日(金)

◆試験日

看護師:7月31日(土)、8月1日(日)
医療情報職:10月中旬の2日間

◆受験案内配布開始日 5月7日(金)

◆配布場所 県庁(1階受付、12階県立病院課)、各県立病院、各総合支庁総合案内窓口、県外事務所(東京・大阪・名古屋)※県ホームページからもダウンロードできます。

☎ 県立病院課 ☎023(630)2167

山形県調理師試験

今年度の調理師試験を、以下のとおり実施する予定です。

◆申込受付期間 6月11日(金)~25日(金)

◆試験日 10月30日(土)

◆願書配布場所 各保健所生活衛生課(室)※山形市保健所を除く

☎ 食品安全衛生課 ☎023(630)2621

募集

さくらんぼ農家で働いてみませんか!

山形県の顔である「さくらんぼ」は、収穫などの人手不足が深刻です。主産地のさくらんぼ農家では、作業を手伝ってくれるアルバイトを募集中です。今年から、アプリを使った応募が可能となりました。まずは、1日からでも働いてみませんか?

◆募集期間 6月上旬から7月中旬

◆作業内容 収穫、選果、箱詰め等

◆申込窓口 各JA無料職業紹介所
またはハローワーク

さくらんぼ労働力 検索

☎ 園芸農業推進課 ☎023(630)2466

奨学金の返還を支援します! やまがた就職促進奨学金返還支援事業 ~応募者募集~

県では、学生の皆さん等が、県内に就業・定住した場合に、奨学金の返還を支援します。

学生の方(大学・短大・専門学校等)

- ◆やまがた若者定着枠 定員230名
- ◆産業人材確保枠 定員50名
- ◎募集時期:5月27日(木)~6月30日(水)
- ◎最大支援額:124万8千円

Uターン希望の方(社会人)

- ◆Uターン促進枠 定員40名
- ◎募集時期:7月頃
- ◎最大支援額:60万円

各要件や申込方法などは県ホームページをご覧ください。

☎ 商工産業政策課 ☎023(630)2691

お知らせ

新たな食品営業届出制度が 6月から始まります!

食品衛生法の改正により、許可業種以外でも、食品営業を行う際は、一部の業種を除き届出が必要になります。現在、対象の営業を行っている方は、期限までに届出をお願いします。

◆対象 野菜果物販売、冷蔵冷凍品の販売、農産加工食品の製造等

◆届出期限 11月30日(火)まで

◆届出方法
オンラインで届出

☎ 食品安全衛生課 ☎023(630)2677



「あなたの回答で、日本の未来が見える。」 令和3年経済センサス-活動調査 を行います

本年6月1日時点における日本経済の「今」を知るため、全国すべての事業所・企業を対象に行う、5年に一度実施する重要な調査です。調査へのご理解・ご回答をお願いします。

- ◆対象 全国すべての事業所・企業
- ◆調査内容 名称、所在地、経営組織、従業員数、事業内容、売上金額など
- ◆調査方法 県知事が任命する調査員が直接伺い、調査票を配布します。(支所などを有する企業には、国が本社などに調査票を郵送します。)

安全で便利なインターネット回答がおすすめです。

経済センサス 活動調査

経済センサス 2021 検索

☎ 統計企画課 ☎023(630)2184

山形県宝くじ情報

県内で販売された宝くじの売上げの一部は、県や県内市町村の収益金となり、道路や橋、学校、公園の整備など私たちの身近な暮らしに役立てられています。宝くじは山形県内でお買い求めください。

ドリームジャンボ宝くじ 5億円
ドリームジャンボミニ 5,000万円
発売期間:5月7日(金)~6月4日(金)

☎ 財政課 ☎023(630)2044

5月は自転車月間です! 自転車は安全で適正に利用しましょう

近年、自転車は、コロナ対策や健康増進、観光での利用にも注目され、利用者の増加が見込まれています。その一方で、自転車事故による被害や高額賠償事例が社会的な問題となっています。山形県では、令和2年7月1日から、自転車損害賠償責任保険等への加入が義務となりました。自転車を利用す

る場合は、自分や家族を守るためにも必ず保険に加入しましょう。また、ヘルメットの着用は大切な命を守ることに繋がります。大人も子どももみんな着用しましょう。

自転車保険への加入についてはこちら

☎ 消費生活・地域安全課 ☎023(630)2460



高齢者講習の予約はお早めに!

70歳以上の高齢運転者は、前もって自動車教習所で高齢者講習を受講しないと、運転免許証の更新ができません。対象となる方には有効期限の6か月前に案内のハガキをお送りします。運転免許証の更新をお考えの方は、ハガキが届いたら、すぐに自動車教習所へ予約をお願いします。予約が遅れると、高齢者講習を受講できず、運転免許証の有効期限が切れるおそれがあります。

運転に不安を感じたらお電話ください。

安全運転相談ダイヤル

#8080
シャープ ハレバレ

☎ 県総合交通安全センター ☎023(655)2150

5月は消費者月間です

新型コロナウイルス感染症の拡大など社会情勢の変化に適切に対応するために、消費者一人ひとりが「新しい日常」において、よりよい消費行動について考えることが大切です。

◆2021年度統一テーマ

「消費」で築く新しい日常

「消費生活サポーター」募集中!

消費者被害防止のため、県が発信する注意喚起情報等を地域や身近な人に伝えるパイプ役となるボランティアを募集しています。興味のある方は下記へお問い合わせください。

◆応募資格 満18歳以上の方

☎ 消費生活・地域安全課

☎023(630)3237

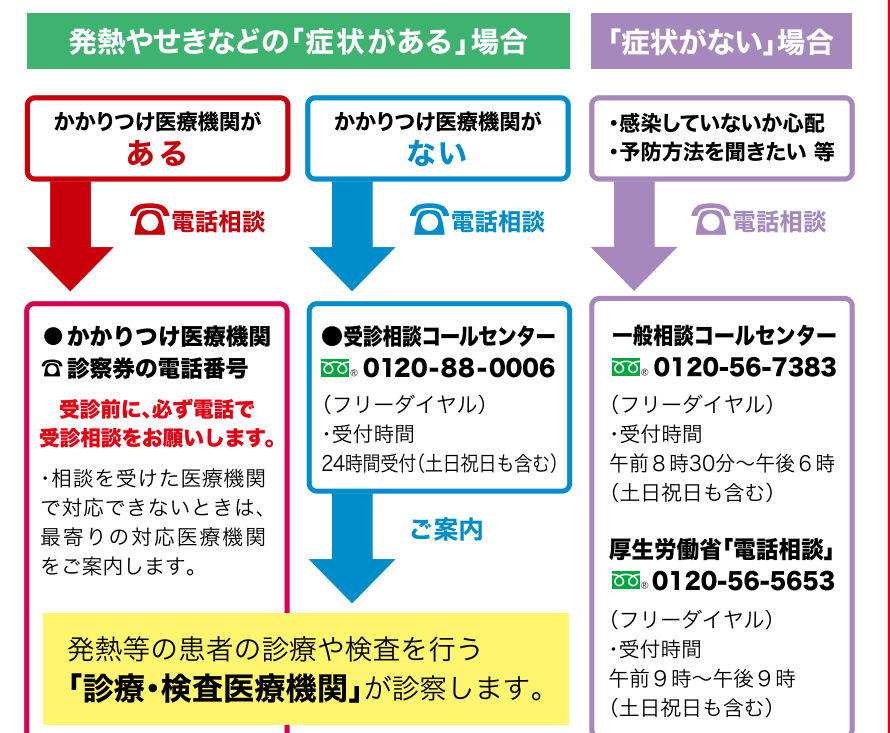
山形県消費生活センターキャラクター「ケロちゃん」

自動車税種別割の納期限は 5月31日(月)です

自動車税種別割は、お近くの金融機関、郵便局、各総合支庁税務担当課、コンビニエンスストアの窓口での納付のほか、クレジットカードを利用して自宅でも納付することができます。皆さん、忘れずに納めましょう。

☎ 税政課 ☎023(630)2068

新型コロナウイルス 相談・受診の流れ



聴覚や言語機能に障がいがある方については、以下の方法により受付しています。

ファクシミリ 023-625-4294 (月~金曜日(祝日除く) 午前8時30分~午後5時15分)





やまがた 伝説 DENSETSU

どうして山形県は さくらんぼの生産日本一なの？ どでかい新品種も登場？



「さくらんぼ」は収穫した果実を言い、「おうとう」は
がくじゅうつようご じゅうもく な み か こうひん
学術用語で樹木と成っている実、「チェリー」は加工品や
ゆにゅうもの くべつ つか
輸入物とおおまかに区別して使われています。山形でさく
らんぼの栽培が始まったのは明治8年。全国で育成が試み
られましたが、実らせることに成功したのは本県とその周
辺だけでした。雨に弱いさくらんぼにとって、山に囲まれ
6月の降雨が少ない山形の環境が非常に適していたので
す。その後、さくらんぼ栽培は県内で普及し、今では全国生
産量の約7割を占める「さくらんぼ王国」になっています。



山形県は
大正時代から
さくらんぼ日本一
その代表選手が
「佐藤錦」なんだって！

佐藤錦は県内栽培の約7割を占めるさくらんぼ界のトッ
プスターです。生みの親は、東根市の佐藤栄助氏。16年もの
歳月をかけて生食用品種として育成しました。佐藤錦の
栽培が拡大したのは、缶詰の需要が下火になり生食用品種
に転換し始めた昭和40年代から50年代にかけて。雨除け
ハウスの普及もこれに拍車をかけました。山形県は、大正
元年以降※、さくらんぼ生産日本一であり続けていますが、
現在も2位以下を大きく引き離す牽引役が佐藤錦なのです。
※ 昭和18～23年は戦中及び戦後の混乱期のため統計データなし



山形県で
さくらんぼの
栽培が始まったのは
いつなぞ？

佐藤錦の誕生後も、様々な品種が生ま
れました。爽やかな甘さの「南陽」、甘
酸っぱく赤い果肉の「紅さやか」、甘み
としっかりした果肉が特長の「紅秀
峰」、大粒で濃厚な味わいの「紅てま
り」、果汁が多く早生の「紅ゆたか」
などなど。そして、今、期待の大型新
人が「やまがた紅王」です。艶のある
赤色が鮮やかで、500円玉よりも大きい
大玉は食べ応えも抜群、令和5年の本格
出荷に向けて注目を集めています。



佐藤錦のほかにもこんなに
たくさんの種類があるって知ってた!?
さらに噂の新品種もデビュー間近!

2017年、山形で
日本初の国際アウトウ
シンポジウムが
行われました。

さくらんぼについてお話を聞きした
むらやま ひで 樹
村山 秀樹 さん
やまがただいがくのうらぐ ぶ きょうじゆ
山形大学農学部 教授

山形県の年間さくらんぼ生産額は360
おくえん いじょう か じゆえん かんこうきやく やく まん
億円以上、果樹園への観光客は約50万
人もあり、その経済波及効果は計り知れ
ません。豊かな食文化に恵まれた山形の
なかでも、米に次ぐ農産品として、大きな
期待が寄せられています。

